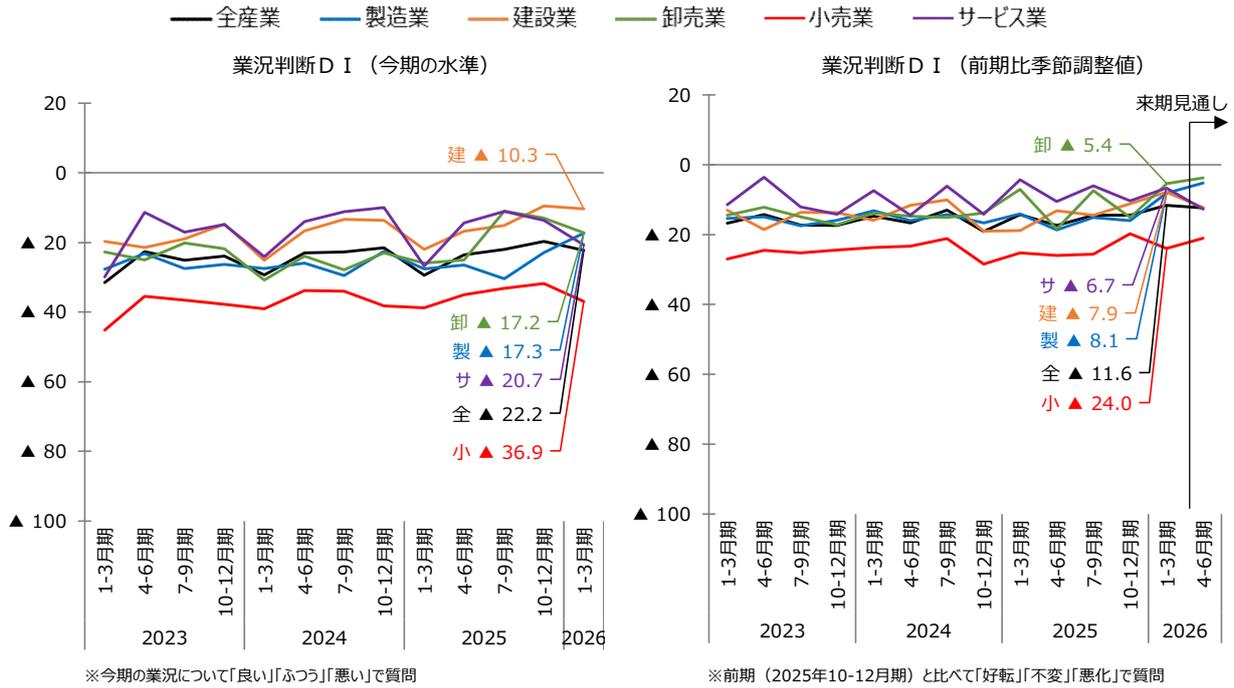


第183回 中小企業景況調査（2026年1-3月期） 中国



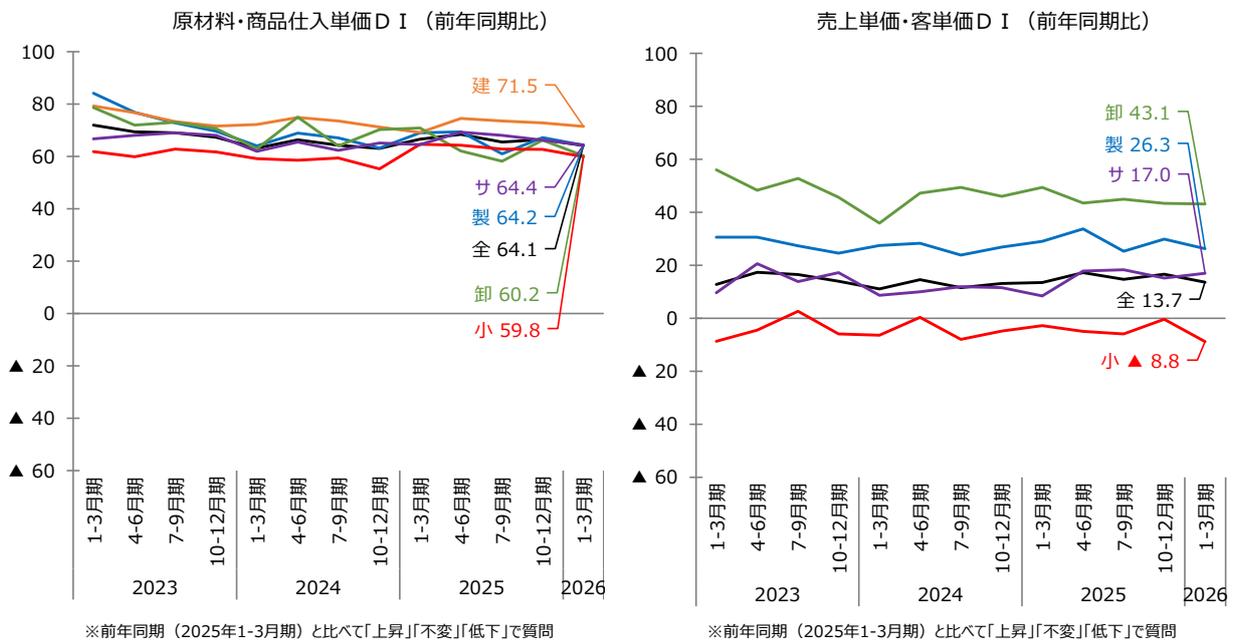
1. 業況感

中国地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2025年10-12月期）より2.5ポイント減の▲22.2と4期ぶりに低下した。産業別にみると、製造業で上昇し、サービス業、小売業、卸売業、建設業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より2.3ポイント減の64.1と2期ぶりに低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より3.0ポイント減の13.7と2期ぶりに低下した。産業別にみると、サービス業で上昇し、小売業、製造業、卸売業で低下した。



<調査概要> 調査時点は2026年3月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,825 有効回答企業数：17,895 有効回答率：95.1% うち、中国：1,636企業

※本資料の集計対象の都道府県は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県です。

第183回 中小企業景況調査（2026年1-3月期） 中国

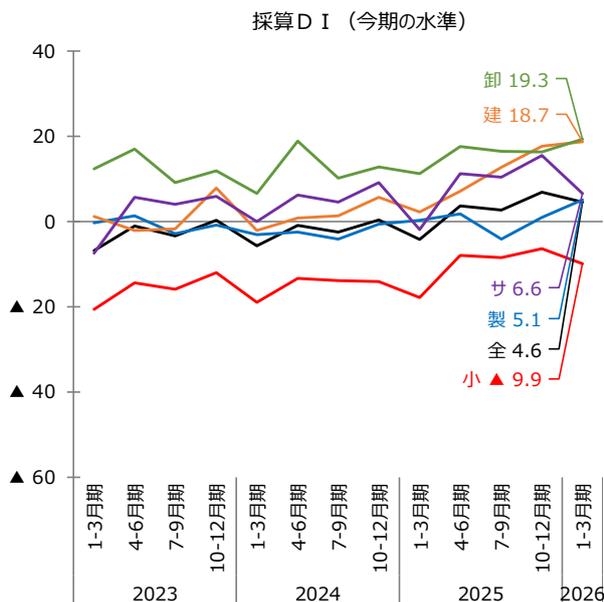


3. 採算

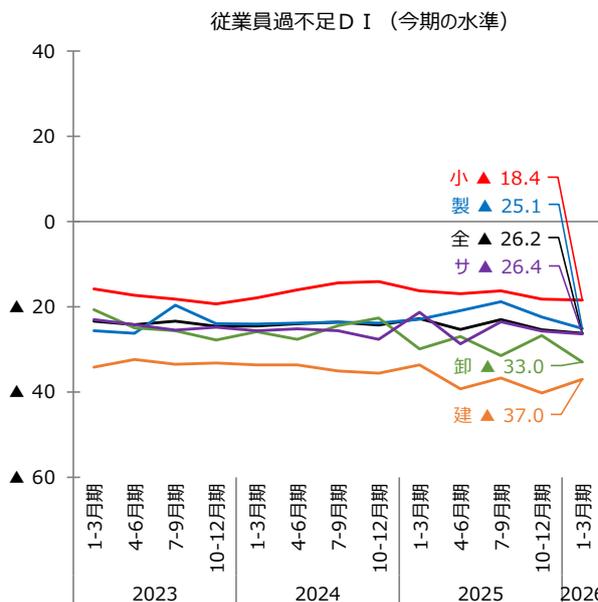
採算DIは、全産業で前期より2.3ポイント減の4.6と2期ぶりに低下した。産業別にみると、製造業、卸売業、建設業で上昇し、サービス業、小売業で低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.8ポイント減の▲26.2と2期連続して低下した。産業別にみると、建設業で上昇し、卸売業、製造業、サービス業、小売業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 中国の中小企業の声

業況判断の背景		業種
現状	当該地域の人口と需要の落ち込みが業況にまともに反映してしまっている。中国地方全体が人口減少と経済状況の悪化になっている中で、いかに地域外に活動範囲を広げるかが課題となる。	製造業 オフセット印刷業（紙に対するもの）
	1～2月は雪が長く続き、仕事を受けていても着工できない日が多かった。昨年比で受注件数も減少しており、需要の停滞を感じている。	建設業 木造建築工事業
	売上・受注は増加しており、どちらも目標達成の見込みだが、利益が足りず苦戦している。また、人員確保は好調だが、デスクや駐車場等の物理的スペースが足りなくなっている。	卸売業 電気機械器具卸売業（家庭用電気機械器具を除く）
	1月以降の降雪・地震の影響で、観光需要が大きく落ち込み売上高の減少に直結した。また、10月以降の最低賃金上昇に対して人員のコントロールが追いつかず、人件費をはじめ費用増となり収支としては苦戦している。	小売業 その他の各種商品小売業
	1月後半から客数が増えた。天候の影響も有。長年ご来店の方も高齢者施設などに入れ足を運ばれる方が少なくなった。遠方のお客様も口コミでご来店いただいているが客足のある時に次のアプローチを考えサービスを行うことが大切である。	サービス業 美容業
見通し	支出を事前によく検討し、減少させたことで、短期的なC/Fは改善した。しかし、長期で見ると設備更新のための資金に不安あり。	製造業 半導体素子製造業（光電変換素子を除く）
	立体駐車場メーカーが中国地方から撤退したことにより、直接契約となったため請負単価が上昇。それに伴い、部品販売の購入販売も行うため利益も見込んでいる。取引先が増え積極的な営業活動を行いたい。	建設業 昇降設備工事業
	今期に入って大口の設備受注が減り、売上高は増加しているが、後半の見通しは楽観できるものではない。	卸売業 金属加工機械卸売業
	人件費・物価の高騰に売上が追いついて行けない状態で、先行きが不安である。	小売業 その他の各種商品小売業
	ドライバーの高齢化、人手不足は待たなし。仕事はあっても稼働できないという状況になっていくと思う。	サービス業 旅行業（旅行業者代理業を除く）

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)